第３【設備の状況】

（１）主要な設備の状況

①前連結会計年度において当社の持分法適用関連会社であったFujitsu Siemens Computers (Holding) B.V.は、平成21年４月１日にSiemens AGから株式を取得したことに伴い、当第１四半期連結会計期間より当社の連結子会社となり、商号をFujitsu Technology Solutions (Holding) B.V.に変更いたしました。これにより、同社のアウグスブルク工場が新たに当社グループの主要な設備となりました。当該設備の状況は、次のとおりです。

テクノロジーソリューション

平成21年６月30日現在

会社名及び事業所名（所在地）		設備の内容	投下資本（百万円）					従業員数（人）
			建物及び構築物	機械及び装置	工具、器具及び備品	土地（面積千㎡）	合計	
在外子会社	Fujitsu Technology Solutions (Holding) B.V. アウグスブルク工場（ドイツ）	サーバ及びパソコン製造設備	5,533	2,005	521	2,575 (182)	10,634	1,784

（注）１．本設備の一部は、ユビキタスプロダクトソリューションに該当する設備です。

２．投下資本は平成21年６月30日現在の帳簿価額によります。なお、投下資本の合計には、建設仮勘定は含んでおりません。

３．投下資本の機械及び装置には、車両及び運搬具を含んでおります。

②ＨＤＤ事業の総合的な見直しを進めていくなかで、長野工場で行っておりましたＨＤＤ用ヘッドの開発・製造を平成21年３月31日をもって終息したため、現在長野工場では当社国内子会社である富士通インターコネクトテクノロジーズ株式会社のプリント基板事業を中心に事業を行っております。

なお、平成21年９月１日にハードディスクドライブ事業を株式会社東芝へ譲渡することを予定しており、Fujitsu Computer Products Corporation of the Philippinesカーメルレイ工場及びFujitsu (Thailand) Co.,Ltd.本社工場は株式会社東芝へ譲渡される予定です。

（２）設備の新設、除却等の計画

当第１四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。